

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：生活環境学科

資格：講師

氏名：水野 優子

研究分野	研究内容のキーワード
住環境計画、都市計画、まちづくり、住宅政策	エリアマネジメント、コミュニティ、ニュータウン、住宅団地
学位	最終学歴
博士（生活環境学）、修士（家政学）、学士（文学）	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究科 生活環境学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 「《生活環境学の知》を考える」シリーズ3 生活をデザインする,第4章3節「コミュニティデザイン」の課題ー現代日本におけるコミュニティの役割ー」 pp. 116-121	2011年10月01日	発行所：(株)光生館 ※著書欄に再掲
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「西宮モダニズムpar7 「近代の郊外住宅地 甲子園ー花苑都市を夢見た甲子園開発史ー」	2017年08月03日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約70名対象。阪神電気鉄道は複数の建築家、都市計画家に打診し新たな都市建設を試み、『甲子園』を誕生させた。その過程でどのような都市が構想され、どのような都市が実現したのかについて講義。
2. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「西宮モダニズムpar8 鳴尾運動場・鳴尾球場から100年ー甲子園誕生の礎となった、今はなき総合運動場ー」	2016年08月03日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約70名対象。甲子園は戦前からスポーツ文化の一大集積地だったが、それに先駆る総合運動場が、ちょうど100年前に鳴尾に誕生した。阪神電気鉄道によって建設され8年後に閉場した運動場と、当時のスポーツ文化について講義。
3. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「西宮モダニズムpar6 枝川・申川ー甲子園に消えたふるさとの川ー」	2015年08月10日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。この2つの河川は、武庫川河口の分流としておよそ100年前まで鳴尾を流れていた。しかし、大正時代末にその流れは止められ、跡地に阪神間モダニズムを牽引した甲子園が誕生する。これらはどのような川であったのか。川が無くなった経緯や、今に残る川の痕跡を講義。
4. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「西宮モダニズムpart5『駅』と『まち』ーなぜ駅はそこに創られたのかー」	2014年08月11日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。鉄道の発達が顕著な日本では、駅とまちの結び付きが特に強い。では何故、駅はその場所につくられたのか？市内の阪神駅を中心に、その歴史的・地勢的要因について講義。
5. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「西宮モダニズムpart4『田畑から住宅地へ』ー近代鳴尾・甲子園の住宅地形成史ー」	2013年08月06日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。鳴尾のほとんどは、かつて一面の農地であった。それが明治末の阪神電車開通と共に、少しずつ住宅地化していった。鳴尾の住宅地がどのようにつくられてきたかを講義。
6. 街歩きイベント,講義テーマ「甲子園・鳴尾モダニズムー球場だけではない甲子園の歴史を歩くー」	2012年11月20日	主催：兵庫県阪神南泉民局 阪神南地域ビジョン委員会。会場：武庫川女子大学派甲子園キャンパス芸術館及び現地（兵庫県西宮市）。一般40名対象。阪神間モダニズム期の鳴尾地区についての講義、及び、阪神鳴尾駅～鳴尾地区～阪神甲子園駅に至る阪神間モダニズム期の遺構の現地説明を実施。
7. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「地図から見た西宮③西宮モダニズム『阪神vs. 阪急』ー明治に始まる沿線開発競争ー」	2012年10月15日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。2006年、阪神と阪急は経営統合したが、それまで両社は、壮絶なライバル関係にあった。開通して以来、両社は、阪神間を舞台にあらゆる事業を展開し、その主導権を競ってきた。両社の攻防が、田園の広がる近代（明治～昭和初期）の阪神間や西宮に何を育んだかを講義。
8. 大阪樟蔭女子大学「平成23年度秋季公開授業」、講義テーマ「美しい都市に向けて」	2011年11月21日	主催：大阪樟蔭女子大学。会場：大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市）。公開講座（計8回）のうち講義1回を担当。一般100名対象。古くは四大文明や古代ローマ・ギリシアの時代から、人類は「理想の都市」を追い求めてきた。美しい都市とは何か。時代と共に変遷してきた理想の都市を振り返りながら、これからの美しい『都市』について講義。
9. 宝塚市立公民館事業「宝塚市民カレッジ2011」、講義テーマ「宝塚の人文地理ー住宅都市の軌跡ー」	2011年09月17日	主催：宝塚市立公民館。会場：宝塚市東公民館（兵庫県宝塚市）。「宝塚市民カレッジ」本科・宝塚学コース（2年制、記念講演+講義13回）のうち講義1回を担当。第4期生85名対象。住宅都市としての宝塚の特徴や、歴史的・文化的経緯について講義。
10. 池開町自治会「ふれあいサロン」、講義テーマ「鳴尾のまちの成り立ちII」	2011年08月26日	主催：池開町自治会。会場：武庫川ランプ会館（池開町第2集会場/兵庫県西宮市）。同会の生涯学習事業におい

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
11. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「地図から見た西宮②『阪急電車と西宮モダニズム』－近代を彩った郊外住宅地－」	2011年08月10日	て、鳴尾のまちの成り立ちのうち、特に阪神による甲子園開発について講義。 主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。明治後期から昭和初期にかけて阪神間で育まれた、日本の伝統文化を重んじつつも西洋の生活様式を吸収した独自の芸術・文化・生活様式である阪神間モダニズムについて、特に西宮市域の阪急今津線に焦点を絞り講義。
12. 池開町自治会「ふれあいサロン」、講義テーマ「鳴尾のまちの成り立ちⅠ」	2011年07月28日	主催：池開町自治会。会場：武庫川ランプ会館（池開町第2集会場／兵庫県西宮市）。同会の生涯学習事業において、鳴尾のまちの成り立ちについて講義。
13. 宝塚市立公民館事業「宝塚市民カレッジ2010」、講義テーマ「宝塚の人文地理－地図で振り返る宝塚の都市形成－」	2010年11月20日	主催：宝塚市立公民館。会場：宝塚市東公民館（兵庫県宝塚市）。「宝塚市民カレッジ」本科・宝塚学コース（2年制、記念講演＋講義13回）のうち講義1回を担当。第3期生85名対象。宝塚の市街地形成のプロセスについて、地図や文献を用いて人文地理学的な側面から講義。
14. 西宮市鳴尾公民館「公民館講座」、講義テーマ「地図から見た西宮－西宮モダニズム－」	2010年08月04日	主催：西宮市鳴尾公民館。会場：西宮市鳴尾公民館（兵庫県西宮市）。一般約60名対象。「阪神間モダニズム」は、明治後期から昭和初期にかけて阪神間で育まれた、日本の伝統文化を重んじつつも西洋の生活様式を吸収した独自の芸術・文化・生活様式であり、その醸成に重要な役割を担ってきた近代西宮の歴史を講義。
15. 宝塚市立公民館事業「宝塚市民カレッジ2009」、講義テーマ「宝塚の人文地理－市街地形成のプロセス－」	2009年07月25日	主催：宝塚市立公民館。会場：宝塚市東公民館（兵庫県宝塚市）。「宝塚市民カレッジ」本科・宝塚学コース（2年制、記念講演＋講義13回）のうち講義1回を担当。第2期生85名対象。宝塚の市街地形成のプロセスについて、人文地理学的な側面から講義。
16. 宝塚市立公民館事業「宝塚市民カレッジ2008」、講義テーマ「宝塚の人文地理－“住宅都市”宝塚－」	2008年07月26日	主催：宝塚市立公民館。会場：宝塚市東公民館（兵庫県宝塚市）。「宝塚市民カレッジ」本科・宝塚学コース（2年制、記念講演＋講義13回）のうち講義1回を担当。第1期生85名対象。“住宅都市”としての宝塚の特徴や、歴史的・文化的経緯について講義。
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 河内長野市都市計画審議会 専門委員（立地適正化計画策定部会 委員（住宅政策分野））	2017年08月～現在	所管：河内長野市都市づくり部都市創生課計画指導係 根拠：「都市計画法」「都市再生特別措置法」、河内長野市「河内長野市都市計画審議会条例」
2. 三田市空家等対策協議会 委員	2017年03月～現在	所管：三田市都市政策部都市計画課住宅政策係 根拠：「空家等対策の推進に関する特別措置法」、三田市「三田市空家等対策協議会条例」
3. 兵庫2030年の展望 まち・地域研究会 委員	2017年02月～現在	所管：兵庫県企画県民部ビジョン課 根拠：兵庫県「兵庫2030年の展望企画部会設置要綱」
4. 西宮のまちづくりに関する学識経験者意見交換会 委員	2016年10月～現在	所管：西宮市都市局都市計画部都市計画課 根拠：西宮市「西宮のまちづくりに関する学識経験者意見交換会設置要綱」
5. 団地再生プロジェクト（鶴甲団地・高倉台団地）『若年世代の団地クリエイティブ・ライフ！』事業者選定評価委員会 委員	2016年08月～2016年10月	所管：（一財）神戸すまいまちづくり公社
6. 豊中市都市景観・屋外広告物審議会 委員	2016年07月～現在	所管：豊中市都市計画推進部都市計画課 根拠：豊中市「豊中市都市景観・屋外広告物審議会条例」
7. 西宮市都市計画審議会 委員	2016年07月～現在	所管：西宮市都市局都市計画部都市計画課 根拠：「都市計画法」、西宮市「西宮市付属機関条例」
8. 豊中市住宅・住環境に関する基本方針策定委員会 委員	2016年06月～2017年03月	所管：豊中市都市計画推進部住宅課 根拠：豊中市「執行機関の付属機関に関する条例」「豊中市住宅・住環境に関する基本方針策定委員会規則」
9. 神戸市地域公共交通活性化協議会 委員	2016年04月～2017年03月	所管：神戸市住宅都市局交通政策部公共交通課 根拠：「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、神戸市「執行機関の付属機関に関する条例」
10. 平成28年度鶴見区コミュニティ育成事業公募型企画提案プロポーザル 選定会議 委員	2016年03月	所管：大阪市鶴見区役所地域活動支援課
11. 尼崎市建築審査会 委員	2015年11月～現在	所管：尼崎市都市整備局都市計画部建築指導課 根拠：「建築基準法」、尼崎市「尼崎市建築審査会条例」
12. 鶴甲団地『若年世代も団地クリエイティブ・ライフ！～新しい！楽しい！すまい方～』事業者選定	2015年08月～2015年09月	所管：（一財）神戸すまいまちづくり公社

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
評価委員会 委員		
13. 尼崎東高等学校跡地（住宅等開発）事業者選定委員会 委員	2015年07月～現在	所管：尼崎市資産統括局資産経営部大規模市有地活用担当 根拠：尼崎市「尼崎市市有地等活用事業者選定委員会条例」
14. 川西市公共施設等のあり方検討委員会 委員	2015年07月～2016年03月	所管：川西市公共施設マネジメント室 根拠：「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成26年4月22日付総財務第74号総務大臣通知）、川西市「川西市付属機関に関する条例」
15. 尼崎東高等学校跡地（運動スペース整備・運営）事業者選定委員会 委員	2015年07月～2016年07月	所管：尼崎市資産統括局資産経営部大規模市有地活用担当 根拠：尼崎市「尼崎市市有地等活用事業者選定委員会条例」
16. 神戸創生戦略プロジェクトチーム メンバー（社会動態対策チーム 魅力的な住まい分野）	2015年06月～2016年03月	所管：神戸市企画調整局政策企画部 根拠：「まち・ひと・しごと創生法」、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成26年12月閣議決定）
17. 姫路市住宅計画審議会 委員	2015年06月～2016年03月	所管：姫路市都市局住宅課 根拠：「住生活基本法」、姫路市「姫路市住宅計画審議会条例」
18. 豊中市市営住宅指定管理者選定評価委員会 委員（都市計画分野）	2015年03月～現在	所管：豊中市都市計画推進部まちづくり総務室住宅チーム住宅管理グループ 根拠：豊中市「豊中市市営住宅条例」
19. 豊中市蛍池駅前再開発地区自動車駐車場指定管理者選定評価委員会 委員（都市計画分野）	2015年03月～現在	所管：豊中市都市計画推進部市街地整備課調整係 根拠：豊中市「蛍池駅前再開発地区自動車駐車場条例」
20. 明石市まちづくり交付金事後評価委員会 委員	2014年12月～2016年11月	所管：明石市都市整備部都市計画課 根拠：「まちづくり交付金事後評価実施要綱」（国土交通省）、明石市「明石市まちづくり交付金事後評価実施要綱」
21. 鶴甲団地リノベーションプラン提案公募選定評価委員会 委員	2014年10月～2014年11月	所管：（一財）神戸すまいまちづくり公社
22. 川西市低炭素型複合施設整備・運営PFI事業者選定委員会 委員（運営（エリアマネジメント）分野）	2014年08月～2015年07月	所管：川西市公共施設再配置推進室 根拠：「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」、川西市「川西市PFI事業者選定委員会設置条例」
23. 明石市開発事業審議会 委員（都市計画分野）	2014年05月～現在	所管：明石市都市整備部建築室開発審査課指導係 根拠：明石市「明石市開発事業における手続き及び基準等に関する条例」
24. 川西市都市計画審議会 委員	2013年05月～現在	所管：川西市都市整備部まちづくり政策室都市計画課 根拠：「都市計画法」、川西市「川西市都市計画審議会条例」
25. 大阪府大規模小売店舗立地審議会 委員（ライフスタイル分野）	2012年12月～2016年12月	所管：大阪府商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課 根拠：「大規模小売店舗立地法」、大阪府「大阪府附属機関条例」
26. 三田市住宅基本計画策定委員会 委員（副委員長）	2012年07月～2013年03月	所管：三田市都市整備部都市政策局住宅政策課 根拠：「住生活基本法」、三田市「三田市附属機関の設置に関する条例」
27. 明石市都市計画審議会 委員（2014年08月より副会長）	2012年06月～現在	所管：明石市都市整備部都市計画課 根拠：「都市計画法」、明石市「明石市都市計画審議会条例」「附属機関の設置に関する条例」
28. 名谷南会館管理運営事業者選考委員会 委員	2012年02月～2012年04月	所管：（財）神戸市開発管理事業団
29. 神戸市まちづくり専門委員	2011年09月～現在	所管：神戸市住宅都市局計画部まち再生推進課 根拠：神戸市「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例」「まちづくり専門委員会議開催要綱」
30. 川西市都市計画審議会 専門委員（川西市都市計画マスタープラン検討委員会 委員）	2011年09月～2013年03月	所管：川西市都市整備部まちづくり政策室都市計画課 根拠：「都市計画法」、川西市「川西市都市計画審議会条例」
<b>4 その他</b>		
1. 人口減少社会における都市空間のあり方勉強会（構成員）	2014年12月～現在	神戸市住宅都市局計画部計画課主宰。人口減少、高齢化等の動向を見ながら、現在の市街地や鉄道等の公共交通、地域のコミュニティの状況等を勘案し、長期的な視点で神戸市が今後目標とするべき都市空間のあり方とそれを実現するための施策や手法についての検討を実施。
2. 神戸すまいまちづくり公社住宅居住者意識調査	2014年10月～2015年03月	（一財）神戸すまいまちづくり公社の賃貸住宅事業のうち、公社直営の特定優良賃貸住宅で実施する入居促進事業（irodori彩）の対象である3団地において、居住者の住宅選択、評価に関する意識調査を行い、入居促進事業の有効性、効果を検証。
3. （公社）日本都市計画学会関西支部国際・交流委員会 海外都市計画交流	2014年08月～2015年03月	（公社）日本都市計画学会関西支部の国際・交流委員会における国際交流会活動。スリランカ民主社会主義共和国において行政や大学関係者へのヒアリングや意見交換及び現地視察を実施。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
4. 駅から始まるコンパクトシティ形成促進方策に関する研究	2014年06月～現在	(公社)都市活力研究所を委託者、(公社)都市住宅学会関西支部を受託者とし、同支部の「郊外・すまいと鉄道研究委員会」(武庫川女子大学、関西学院大学、関西大学、大阪大学の4研究室合同)により、郊外駅及び駅前生活拠点の可能性についての調査研究を実施。
5. 兵庫県郊外型住宅団地再生検討会 委員 (副会長)	2014年06月～2016年03月	兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課主宰。急激な人口減少、高齢化による地域コミュニティ活力の低下、空き家・空き地の増加等が懸念される郊外型住宅団地について、その再生手法等を検討し、「兵庫県ニュータウン再生ガイドライン」を策定。
6. 近隣センターの利活用に関する住民アンケート調査	2012年12月～2013年05月	(株)OMこうべ(旧・(財)神戸市開発管理事業団)が管理する近隣センター2施設の周辺居住世帯にアンケート調査を実施し、近隣センターに対する住民のニーズや意識を的確に把握し、同施設の活性化を図ると共に地域のオールドタウン化に対する効果的な施策を立案し、実施していくための基礎資料を作成。
7. 既存郊外戸建て住宅地の再生事業の企画研究	2012年08月～2014年03月	大阪大学郊外住宅地再生企画研究グループにおける、清瀬台地区(兵庫県西宮市)を対象とした既存郊外戸建て住宅地の再生事業の企画研究に共同研究者として参画。シニアサポートの実態に関する研究等を実施。
8. 明石市西明石活性化プロジェクト協議会 委員	2011年04月～2015年03月	学識経験者、地縁型市民活動組織の代表者、市職員等で構成。明石市都市整備部都市計画課の要請で委員就任。西明石駅周辺(兵庫県明石市)を中心とした西明石地域のまちづくりについての情報交換、課題の整理、住民意向の集約等を行い、西明石地域南北の一体化を図るため地域と行政が協働して目指すべきまちづくりの姿をまとめることを目的とした協議会。
9. 「高齢化の進む建替団地での地域経営の可能性」調査	2010年07月～2011年03月	(財)土地総合研究所の平成22年度国土政策関係研究支援事業の助成を単独で受け、UR浜甲子園団地(兵庫県西宮市)における居住者による地域経営に関するこれまでの取り組みの検証を行い、今後、他地域において同様の取り組みを行うための知見を得る調査研究を実施。
10. 団地マネジメント研究会 (構成員)	2010年04月～2012年03月	大学研究者、(独法)都市再生機構西日本支社等で構成。「団地マネジメント」及び「団地マネージャー」に関する普及活動、武庫川団地をモデルとした実践的取組み、「団地管理評価」の手法構築等の調査研究を実施。
11. 新しい公共の都市政策的展開研究会 研究員	2010年04月～2011年03月	(財)神戸都市問題研究所主宰。「エリアマネジメント研究会」において検討したエリアマネジメントの概念規定と枠組みをもとに、ボランティアセクターの組織的自立に向けた施策を、市民、大学、事業者の共同により研究・提言を実施。
12. 浜甲子園団地キッチンガーデン・プロジェクト運営支援	2010年03月～2015年03月	UR浜甲子園団地(兵庫県西宮市)の建替事業で整備される区画貸菜園において、この施設を地域再生の手段とすべく、整備前から菜園運営の予行演習、自主運営のルールづくり、運営組織づくり等の支援及び菜園整備後の運営支援を実施。
13. 「次世代の関西」検討委員会 委員	2009年08月～2011年11月	(社)日本都市計画学会関西支部20周年記念事業である2011年秋のイベント開催の一環として、若手学会員の企画による記念プログラム(書籍「いま、都市をつくる仕事未来を拓くもうひとつの関わり方」の発行等)を実施し、学会活動の活性化と次世代の関西都市計画を展望。
14. エリアマネジメント研究会 研究員	2009年04月～2010年03月	(財)神戸都市問題研究所主宰。細かい地域単位での計画を行政支援のもとに地域主体で策定し実行するという地域の管理・運営システム(エリアマネジメント)の導入についての諸課題を、市民・大学・事業者の共同により研究・提言を実施。
15. 神戸のすまいづくりに関する若手研究者との勉強会 コアメンバー	2008年09月～2008年12月	神戸市都市計画総局住宅政策課主宰。次期神戸市住生活基本計画策定に向けた神戸市の住宅・住生活の将来像、現状の課題等についての勉強会において、「計画的住宅地の課題と展望」についてディスカッションの話題提供等を実施。
16. 高経年分譲マンション実態調査研究会 委員	2008年09月～2009年03月	神戸市住宅供給公社(神戸市すまいの安心支援センター)主宰。分譲マンションの高経年化に対する施策の検討にあたり、高経年マンションの実態を把握し、今後の政策立案の方向性の検討を実施。
17. 生活質感研究会 (構成員)	2008年04月～2009年03月	武庫川女子大学生生活環境学科の研究者有志で構成。様々な生活領域(衣生活領域、住生活領域、生活財一地域共同体領域、地域共同体領域一開発と景観、象徴的領域)の生活質感の評価法を策定し、環境配慮型生活モデルや生活質感の向上についての調査研究を実施。
18. まちのいろ研究会 (構成員)	2007年04月～2009年03月	(社)日本都市計画学会関西支部の助成を受け、阪神間の大学等の個人研究者で構成。「まちのいろ」に関する視座が求められている現状を受け、今後の「まちのいろ」の基本的な考え方を整理し、都市計画のツールとしての「まちのいろ」の計画論を展望。
19. 兵庫区歴史花回道構想の新展開支援	2007年04月～2008年03月	神戸市兵庫区まちづくり推進課による「兵庫区歴史花回道構想」(2000年03月策定)をさらに推進するため、今

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
20. フランス住宅事情調査	2007年03月～2007年04月	後の新展開について、地域とのワークショップの適宜開催、学識経験者や区民まちづくり会議の意見をとりまとめ、現行事業の再評価、方向性に関する提言、試行的な企画開催、実施計画の策定を実施。  (社)都市住宅学会関東支部と同関西支部の共同事業として企画された、フランスの都市住宅事情視察調査。パリ、リヨン、ニース等の社会住宅や旧市街地の住宅改善事業、ニュータウン、郊外団地の再生事業、町並み保全事業等を調査。
21. ソーシャル・キャピタル協働政策研究会 アドバイザー	2006年09月～2007年03月	(財)神戸都市問題研究所主宰。市民、大学、事業者の協働で政策研究・提言するもので、中長期的な視点から、地域のソーシャルキャピタルの形成促進要因を把握すると共に、その醸成に向けた民・学・産と行政の役割について調査研究を実施。
22. 空間像研究会（構成員）	2006年09月～現在	阪神間の大学、行政職員、コンサルタント等の個人研究者で構成。建築・景観・まちなみ等の空間構成要素や都市空間をつくりあげるプロセス、その主体としてのコミュニティ等、多面的な側面から神戸の都市空間について研究活動を実施。
23. 郊外戸建て住宅地の再生・再編のための実態把握調査（人口減少社会に対応した郊外住宅地等の再生・再編手法の開発）	2005年10月～2006年03月	全国9都市を対象に各都市から計画開発された戸建て住宅地を選び、各住宅地の評価、空き地・空き家の発生状況の把握調査をする国土交通省国土技術政策総合研究所の委託事業において、(社)都市住宅学会関西支部が受託した三田市調査の調査及び報告資料作成を実施。
24. 阪神北地域ニュータウン再生研究会 オブザーバー	2005年04月～2006年03月	兵庫県阪神北県民局、川西市役所、猪名川町役場、武庫川女子大学で構成。「急速な高齢化に伴うニュータウンのあり方研究会」の成果を踏まえ、オールド・ニュータウンの再生へ向けた政策提言を実施。
25. 西神ニュータウン研究会（構成員）	2004年10月～2013年03月	神戸市内の大学等の研究者、行政職員、コンサルタント、居住者等で構成。西神ニュータウン（神戸市西区）について様々な角度からの勉強会、情報交換、意見交換を実施。
26. 急速な高齢化に伴うニュータウンのあり方研究会 オブザーバー	2004年04月～2005年03月	兵庫県阪神北県民局、川西市役所、猪名川町役場、武庫川女子大学で構成。昭和40年代より大阪大都市圏のベッドタウンとして急激な人口増加をした阪神北地域のニュータウンの現状と再生・活性化のための調査研究を実施。
27. 西大阪線沿線まちづくり研究会「西大阪線沿線まちづくり」に係る調査	2004年01月～2004年03月	西大阪線沿線まちづくり研究会（阪神電気鉄道(株)・近畿日本鉄道(株)・都市基盤整備公団関西支社）に武庫川女子大学生生活環境学部角野研究室として協力。阪神西大阪線延伸（予定）に伴う、大学生の沿線活用に関する意識をグループインタビューにより抽出し、今後の沿線活用に関する方向性を示す調査を実施。
28. 「美しいまち」推進のための協働プロジェクト地区基礎調査	2003年04月～2007年03月	神戸市市民参画推進局の「美しいまち」推進のための協働プロジェクトにおいて、野田北部（長田区）、六甲アイランドシティ（東灘区）の2モデル地区で、居住者に対する住環境意識アンケート調査及び地区の美化に関する実態調査等を実施。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 団地再生まちづくり3 団地再生まちづくりプロジェクトの本質	共	2012年06月30日	(株)水曜社	全国の団地再生の取り組み事例をまとめたもの。このうち、建替事業が進む西宮市のUR浜甲子園団地において区画貸菜園における野菜や花づくりを通じたコミュニティ創出の取り組みを執筆。 執筆部分：第1章6節「住民の〈楽しみ〉がコミュニティをつくる」pp. 42-46 編者：(一社)団地再生支援協会、NPO団地再生研究会、(株)合人社計画研究所
2. いま、都市をつくる仕事 未来を拓くもうひとつの関わり方	共	2011年11月01日	(株)学芸出版社	(公社)日本都市計画学会関西支部が20周年にあたり設置した研究会の2年半にわたる活動成果をまとめたもので、「都市をつくる仕事」を多様なアプローチで実践している事例を紹介。 執筆部分：1章7節「カフェで極めた自己表現が生んだ、地域のムーブメント/サロン・ド・アマン」p. 73-80、3章7節「変化の最前線で働くきっかけとキャリアパス」pp. 205-211（3章7節は吉田長裕との共著） 編者：(公社)日本都市計画学会関西支部 次世代の「都市をつくる仕事」研究会
3. 「《生活環境学の知》を考える」シリーズ3 生活をデザインする	共	2011年10月01日	(株)光生館	人と環境との相互関係を生活に基盤を置く視座から総合的に探究する学際的な学問である生活環境学について、生活の美学、生活の科学、生活のデザインの3つの領域から「生活環境学をめぐる知」を提案した。このうち、現代社会においていっそう重要

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
4. 都心・まちなか・郊外の共生—京阪神大都市圏の将来—	共	2010年04月20日	(株) 晃洋書房	<p>となるコミュニティの役割と生活者の視点からみたまちづくりの重要性について執筆。 執筆部分：第4章3節「コミュニティデザインの課題—現代日本におけるコミュニティの役割—」pp. 116-121 編著者：横川公子</p> <p>(社)都市住宅学会関西支部都心郊外共生研究委員会での研究成果をまとめたもので、「都心・まちなか・郊外」の同心円ベルト構造として形成された京阪神大都市圏における、21世紀都市成熟期の「多極ネットワーク型大都市圏」への変貌を展望する。このうち、20世紀都市成長期に開発された郊外住宅地が、今後、構造的な人口減少・高齢化の進行に伴い山積する課題に対し、都市住民のワーク・ライフスタイルの選択・創造行動を媒介にした再生と持続可能な地域社会のあり方を執筆。 執筆部分：第4章「戦後郊外戸建住宅地の再生—コミュニティの活性化を通して」pp. 129-149 編著者：広原盛明、高田光雄、角野幸博、成田孝三</p>
<b>2 学位論文</b>				
1. ニュータウンにおける管理運営主体としての地域コミュニティのあり方に関する研究	単	2006年03月	武庫川女子大学 (博士 (生活環境学) 第80号)	<p>ニュータウンの管理運営主体としての地域コミュニティの重要性に着目し、その役割と形成プロセスおよび行政等からの支援方策について、複数のケーススタディ地区における調査および事例をもとに具体的に論じた。ケーススタディ地区は、兵庫県川西市の大和団地、兵庫県三田市のニュータウン、神戸市東灘区の六甲アイランドシティ、神戸市長田区の野田北部、兵庫県北播磨地方の北はりま田園空間博物館である。</p>
<b>3 学術論文</b>				
1. エリアマネジメントの視点からみた神戸市におけるまちづくり組織の特性に関する研究 (査読付)	共	2014年12月	住宅系研究報告会論文集, 9, pp. 157-163, 日本建築学会	<p>神戸市の種々のまちづくり組織の活動内容・運営状況の分析から、まちづくり組織を持続させるための組織の種類ごとの特性を提示し、エリアマネジメント組織移行への可能性について論じた。 著者：水野優子・三輪康一・栗山尚子・末包伸吾・安田丑作</p>
2. 「アーバン・デザイン甲子園」の取り組みと評価の特徴—都市計画・まちづくりに関する新たな評価機会の提供 (査読付)	共	2014年02月	日本建築学会技術報告集, 44, pp. 323-328, 日本建築学会	<p>大学・大学院における都市計画・まちづくり分野の新たな指標による評価機会の提供を目的とした、日本建築学会近畿支部都市計画部会の取り組みについて、参加者、審査員への調査をもとに、取り組みの概要を報告した。 著者：佐久間康富・山崎義人・水野優子・柴田祐・栗山尚子・嘉名光市</p>
3. 計画的集住環境における屋外空間に関する居住者の意識調査 (その1) —大規模団地における犯罪不安を対象として— (査読付)	共	2012年07月	地域施設計画研究, 30, p. 47-52, 日本建築学会	<p>関西に立地する大規模な公的集合住宅団地を対象に、団地内屋外空間に関する居住者の意識調査および生活環境に関する個別ヒアリングを実施し、団地内屋外空間の住民の日常利用の視点から団地内屋外空間のあり方について論じた。 著者：生川慶一郎・出口寛子・水野優子・大島祥子・加茂みどり・森ゆかり</p>
4. 計画的集住環境における屋外空間に関する居住者の意識調査 (その2) —大規模団地における犯罪不安を対象として— (査読付)	共	2012年07月	地域施設計画研究, 30, p. 53-60, 日本建築学会	<p>(その1) で対象とした大規模な公的集合住宅団地において、現代のニーズに対応した団地ストック活用のための基礎的資料を得ることを目的として、高経年の大規模団地における屋外空間の居住者評価について、特に上質な居住環境を創造するために不可欠である犯罪不安を対象として、現状の空間構成を把握し、居住者が抱える犯罪不安意識を論じた。 著者：出口寛子・生川慶一郎・水野優子・大島祥子・加茂みどり・森ゆかり</p>
5. 団地居住者による共用空間マネジメントの可能性—公的賃貸住宅の共用施設を事例として—	単	2011年10月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編, 第59巻, pp. 115-124, 武庫川女子大学	<p>高度経済成長期に建設された公的大規模住宅団地では、近年、団地建設事業や団地再生による建替事業等において、居住者が運営に携わることを前提とした共用空間等が整備されているが、その活動は単なる一過性になっており、継続的な取り組みに繋がらない状況が見られる。これまでの取り組みの検証と、他地区における同様の事例から知見を得るため、関係者に対してヒアリング調査をおこない、団地居住者による共用空間マネジメントの実態と、自立的・持続的なマネジメントに向けた課題を論じた。</p>
6. 公的住宅団地における共用空間の居住者運営に関する研究	単	2011年10月	都市住宅学, 75号, pp. 120-125, 都市住宅学会	<p>公的住宅団地において、居住者が運営に関わる共用空間の現状を整理し、居住者による持続的な共用空間の利活用、運営に関する課題を論じた。</p>
7. 高齢化の進む建替団地での地域経営の可能性—共同利用施設を資源とする地域経営—	単	2011年夏	季刊土地総合研究, 第19巻第3号, pp. 19-25, 財団法人土地総合研究所	<p>近年、全国的に建替事業が展開されている高度経済成長期に建設された公的大規模集合住宅団地を対象として、共同利用施設の維持・管理・運営状況を明らかにした上で、課題や問題点を明らかにし、共同利用施設を資源とした地域経営の可能性について論</p>

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
8. 高経年マンションの管理の現状とその課題に関する研究－神戸市の事例調査を通して－（査読付）	共	2009年11月	日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 4, pp. 29-238, 日本建築学会	じた。 神戸市域における高経年マンションを分類し、ヒアリング調査を実施することで管理状況を整理し、高経年マンションの現状と課題を明らかにするとともに、今後の施策立案に資する知見を論じた。 著者：栗山尚子・水野優子・戸田聡子
9. 環境配慮型生活における生活質感評価法の研究Ⅰ－生活モデル模索への覚書－	共	2009年03月	武庫川女子大学紀要人文・社会科学編	大量消費、大量廃棄を前提とした企業方針への疑問とともに環境負荷軽減の問題は各生活者の問題としてクローズアップされている。そこで、多様な視点から生活者の生活行動事例を研究し、生活者の感じる様々な制約や違和感を詳細に検証し、生活質感の評価方法や生活質感改善の問題解決法を、モデル提示→モニタリング実践を通じて提起した。 担当部分：3章, pp. 151-152 著者：横川公子・森田雅子・岡田春香・黒田智子・佐々尚美・鈴木優里・富田高代・中谷幸世・西田徹・水野優子・山本泉
10. 計画市街地開発における開発事業者によるコミュニティ育成の取り組みが地域活動に与えた影響について－神戸六甲アイランドを事例として－	共	2006年06月	日本建築学会計画系論文集, No. 604, pp. 109-114, 日本建築学会	ハード面・ソフト面すべてがゼロからの出発であり空間的にも限定される立地条件から、六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、特に開発事業者の取り組みに注目して、入居開始より継続的に行われた開発事業者によるコミュニティ育成に関する取り組みを明らかにし、その後の地域のコミュニティ活動の動向を追跡した上で、開発事業者による取り組みの効果と意義を論じた。 担当部分：本人を中心とした研究であり、論文全編を執筆した。 著者：水野優子・角野幸博
11. 土地利用の変化及び高齢時の継続居住意識からみた民間分譲戸建て住宅地の持続可能性について－川西市大和団地を事例として－	共	2005年11月	都市住宅学, 51号, pp. 109-114, 都市住宅学会	大和団地（兵庫県川西市の）を事例に、分譲が既に終了している民間開発型戸建て住宅地を取り上げ、居住者の高齢化や転出に伴う空地・空家の増加、敷地細分化・一体化等の住環境の変容を把握したうえで、居住者の高齢時における居住地志向や住環境評価及び住宅の維持管理に対する意識を明らかにすることで、土地利用等の変化の要因を探るとともに住宅地の継承を促進するための課題を論じた。 担当部分：本人を中心とした研究であり、論文全編を執筆した。 著者：水野優子・角野幸博
12. 北はりま田園空間博物館における地域資源の特徴について	単	2002年12月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第12号, pp. 81-88, 武庫川女子大学	兵庫県北播磨地方の西脇市・多可郡中町・加美町・八千代町・黒田庄町の1市4町において、「エコミュージアム」をプロトタイプとした農林水産省の補助事業である田園空間博物館事業を契機としてはじめられた「北はりま田園空間博物館」を事例に、その構成要素である「サテライト」の変容を整理し、本来のエコミュージアムとの比較を通じて、北はりま田園空間博物館のサテライトの特徴を論じた。
13. エコミュージアムの日本的展開－北はりま田園空間博物館を事例に－	共	2001年06月	都市計画, Vol. 50- No. 2 (231), pp. 17-20, 日本都市計画学会	兵庫県北播磨地方の西脇市・多可郡中町・加美町・八千代町・黒田庄町の1市4町において、「エコミュージアム」をプロトタイプとした農林水産省の補助事業である田園空間博物館事業を契機としてはじめられた「北はりま田園空間博物館」を事例に、住民主導型エコミュージアムを整備・運営するためのプロセスを、「おかね」の視点から論じた。 担当部分：共同研究の成果を著者筆頭が中心的に執筆したため、担当部分の抽出は困難。 著者：角野幸博・水野優子
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. (社)都市住宅学会関西支部2012年度記念シンポジウム, テーマ「『住みこなし』によるニュータウンの新しい価値－浜甲子園団地などの事例から－」		2012年04月4日	主催：(社)都市住宅学会関西支部。 会場：大阪市立住まい情報センター（大阪市北区）。	ニュータウンの居住者がニュータウン固有の資源を活用し、「住みこなし」ことで創造される新しい価値について、ニュータウンや団地で始動している新たなライフスタイルやまちづくりに関わる活動等を講演。
2. 都市住宅学「登龍門」, テーマ「人口減少社会と郊外住宅地」		2006年05月20日	主催：(社)都市住宅学会関西支部。 会場：大阪市立住まい情報センター（大阪市北区）。	公・官・学の各分野より各1名がそれぞれのテーマについて講演するもので、そのうち「学」分野として、人口減少社会におけるニュータウンの展望と住宅地の継承のための方向性について講演。
<b>2. 学会発表</b>				
1. ウォーターフロント再開発の特性の変化に関する研究－オーストラリア・シドニーを事例として－	共	2017年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第57号計画系, pp. 373-376, 日本建築学会近畿支部	著者：栗山尚子・山崎義人・水野優子
2. まちづくりアーカイブズの構築とその課題に関する研究－神戸市に	共	2015年09月	日本建築学会2015年度大会学術講演梗概	まちづくりの記録を収集・保存・公開するまちづくりアーカイブズの構築が急務である神戸市において、

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
おけるまちづくり資料を事例としてー			集, F-1, pp. 703-704, 日本建築学会	アーカイブズを構成する資料の分析、行政・まちづくり協議会等へのヒアリングにより、アーカイブズ構築における課題を把握し、実現に向けての可能性を論じた。
3. 浜甲子園団地における家具転倒防止対策の現状と意識に関する研究	共	2015年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第55号計画系, pp. ●●, 日本建築学会近畿支部	著者：玄伽？・三輪康一・末包伸吾・水野優子・栗山尚子 著者：岡本真由子・水野優子
4. まちづくりアーカイブズの構築とその課題に関する研究ー神戸市におけるまちづくり資料を事例としてー	共	2015年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第55号計画系, pp. 501-504, 日本建築学会近畿支部	まちづくりの記録を収集・保存・公開するまちづくりアーカイブズの構築が急務である神戸市において、アーカイブズを構成する資料の分析、行政・まちづくり協議会等へのヒアリングにより、アーカイブズ構築における課題を把握し、実現に向けての可能性を論じた。
5. ニュータウンにおける近隣センターの利用に関する意識についてー神戸市西神ニュータウンを事例にー	単	2014年09月	日本建築学会2014年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 569-570, 日本建築学会	兵庫県神戸市の西神住宅団地において、初期に入居開始されたたエリアに立地する近隣センターを事例として、周辺住民への意識調査を通して、利用者の意識と身近な生活拠点、日常利用の商業施設としての現状を明らかにした。
6. 大規模団地の居住者からみた「よく利用する場所」に関する屋外空間分析ー団地再生の具体的方策に関する基礎的調査 その1ー	共	2012年09月	日本建築学会2012年度大会学術講演梗概集, E-2, pp. 1343-1344, 日本建築学会	団地再生のための基礎資料を得ることを目的として、関西に立地する公的集合住宅団地を対象に実施した、団地内屋外空間に関する居住者の意識調査および生活環境に関する個別ヒアリングをもとに、日常利用の視点から団地内屋外空間のあり方について論じた。
7. 大規模団地の居住者からみた「防犯上不安を感じる場所」に関する屋外空間分析ー団地再生の具体的方策に関する基礎的調査 その2ー	共	2012年09月	日本建築学会2012年度大会学術講演梗概集, E-2, pp. 1345-1346, 日本建築学会	現代のニーズに対応した団地ストック活用のための基礎的資料を得ることを目的として、高経年の大規模団地における屋外空間の居住者評価について、特に上質な居住環境を創造するために不可欠である犯罪不安を対象として、現状の空間構成を把握し、居住者が抱える犯罪不安意識を論じた。
8. 公的賃貸住宅団地における居住者の地域参加意識について 団地マネジメントの視点から	共	2012年09月	日本建築学会2012年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1071-1072, 日本建築学会	都市再生機構西日本支社は団地ストックの活用と再生に関して、各団地の特性に応じた創造的な運営をおこなう「団地マネジメント」への転換が論じられている。団地マネジメントの実践にあたっては、団地居住者の参加が必要不可欠であり、居住者が地域の運営に積極的に参加していくために、どのような支援、配慮が必要であるかを論じた。
9. 公的賃貸住宅団地における居住者の地域参加意識についてー団地マネジメントの視点からー	共	2012年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第52号計画系, pp. 453-456, 日本建築学会近畿支部	公的賃貸住宅団地における居住者の地域参加意識についてアンケート調査を実施した結果をまとめたもの。居住者が地域の運営に積極的に参加していくために、どのような支援、配慮が必要であるかを論じている。
10. 大規模団地の屋外空間における日常利用に関する居住者評価	共	2012年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第52号計画系, pp. 281-284, 日本建築学会近畿支部	現代のニーズに対応した団地ストック活用のための基礎的資料を得ることを目的として、高経年の大規模団地における屋外空間の居住者評価について、特に上質な居住環境を創造するために不可欠である犯罪不安を対象として、現状の空間構成を把握し、居住者が抱える犯罪不安意識を論じた
11. 大規模団地の屋外空間における犯罪不安に関する居住者評価	共	2012年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第52号計画系, pp. 81-84, 日本建築学会近畿支部	現代のニーズに対応した団地ストック活用のための基礎的資料を得ることを目的として、高経年の大規模団地における屋外空間の居住者評価について、特に上質な居住環境を創造するために不可欠である犯罪不安を対象として、現状の空間構成を把握し、居住者が抱える犯罪不安意識を論じた
12. 集合住宅団地の外部空間マネジメントにおける居住者関与の現状と課題	単	2011年10月	日本家政学会関西支部第33回(通算89回)研究発表会, 会場: 滋賀県立大学	集合住宅団地において、居住者がマネジメントに関わる共用の外部空間の現状を整理し、持続可能なコミュニティ育成のための外部空間マネジメントに関する課題を論じた。
13. 団地におけるコミュニティ創出のための共用空間の維持管理に関する	単	2011年08月	日本建築学会2011年度大会学術講演梗概集, F-	公的集合住宅団地では、コミュニティ活動が停滞し、日常生活のさまざまな課題も顕在化しており、居



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
る研究			1, pp. 1071-1072, 日本建築学会	住者が自立的に地域経営をおこなう視点が求められ、それを円滑にする仕組みが必要とされている。そのため公的集合住宅団地の共用空間における維持管理の現状を整理し、コミュニティ創出のための課題を論じた。
14. 住み替えに伴う居住者の住環境意識の変化に関する研究－兵庫県西宮市浜甲子園団地を事例として－	共	2009年08月	日本建築学会2009年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 319-320, 日本建築学会	高度成長期に建設された公的大規模住宅団地において、初期に開発されたものの一部は、建物の老朽化などに伴い近年全国的に建替事業が展開されつつある。浜甲子園団地（兵庫県西宮市）を事例に、建替後の住宅への転居によっておこる物理的環境変化の中でおこる、継続居住者における住環境評価の変化、転居に対する意識について論じた。 著者：水野優子・大坪明
15. 住み替え時の高齢者の意識に関する研究	共	2009年08月	日本家政学会第61回大会, 会場：武庫川女子大学	建替事業が実施された西武庫団地（兵庫県尼崎市）を事例に、建替にともなう物理的環境変化の中で、居住者の多くを占める高齢者の心理的変化、生活行動様式の変化がおこるのかを明らかにし、高齢時の住み替えを円滑にすすめるための知見を得るものである。 著者：水野優子・大坪明
16. 世代交代を迎えたニュータウンにおける転入者促進のための方策に関する研究－川西市大和団地を事例として－	単	2008年09月	日本建築学会2008年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1541-1542, 日本建築学会	大和団地（兵庫県川西市）を事例に、最近ニュータウンに転入した「新規居住者」を対象に、転居時の「情報」に関する部分に視点をおき、転入決定をおこなったプロセス、および、「情報」がその後の居住へいかに影響を及ぼしたかを明らかにし、今後の転入者促進方策に関する知見を論じた。
17. 世代交代を迎えたニュータウンにおける転入者促進のための方策に関する研究－川西市大和団地を事例として－	単	2008年06月	日本建築学会2008年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1541-1542, 日本建築学会	大和団地（兵庫県川西市）を事例に、最近ニュータウンに転入した「新規居住者」を対象に、転居時の「情報」に関する部分に視点をおき、転入決定をおこなったプロセス、および、「情報」がその後の居住へいかに影響を及ぼしたかを明らかにし、今後の転入者促進方策に関する知見を論じた。
18. ニュータウンにおける住宅の世代間継承に関する研究－川西市大和団地を事例として－	共	2006年09月	日本建築学会2006年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1053-1054, 日本建築学会	入居開始より40年近くが経過している民間開発型戸建中心大規模住宅地である大和団地（兵庫県川西市）を事例に、今後のまちのリニューアルを視野に含め、地区の土地利用（特に住居系用途）の更新・変容の状況を論じた。 著者：水野優子・角野幸博
19. 郊外住宅地の変容に関する研究－川西市大和団地を事例として－その2. 住宅の建替え・増改築・修繕	共	2005年09月	日本建築学会2005年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1107-1108, 日本建築学会	入居開始より40年近くが経過している民間開発型戸建中心大規模住宅地である大和団地（兵庫県川西市）を事例に、居住者を対象としたアンケート調査により、住宅の建替え・増改築・修繕についての実態と居住者意識を論じた。 著者：青木留美子・水野優子・角野幸博・多治見左近
20. 郊外住宅地の変容に関する研究－川西市大和団地を事例として－その1. 土地利用の変容	共	2005年09月	日本建築学会2005年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 1105-1106, 日本建築学会	入居開始より40年近くが経過している民間開発型戸建中心大規模住宅地である大和団地（兵庫県川西市）を事例に、今後のまちのリニューアルを視野に含め、地区の土地利用（特に住居系用途）の更新・変容の状況を論じた。 著者：水野優子・角野幸博
21. 住環境マネジメントに対する居住者の意識について－日生ニュータウンを事例として－	共	2005年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第45号計画系, pp. 613-616, 日本建築学会近畿支部	まちびらきより約30年が経過し、現在も分譲が進められている民間開発型ニュータウンである兵庫県川西市・猪名川町の日生ニュータウンを事例に、将来的な住環境のマネジメントを視野に含め、居住者を対象としたアンケート調査により住環境への居住者意識を論じた。 著者：水野優子・角野幸博・青木留美子
22. 埋立都市におけるコミュニティ形成のための主体と役割の変遷について（その1）－神戸六甲アイランドを事例に－	共	2004年08月	日本建築学会2004年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 733-734, 日本建築学会	神戸市東灘区の六甲アイランドシティを事例とし、まちびらき当初に開発事業者により販促の一環として取り組まれたコミュニティ形成のための仕掛けについてヒアリング調査をもとにを論じた。 著者：角野幸博・水野優子
23. 埋立都市におけるコミュニティ形成のための主体と役割の変遷について（その2）－神戸六甲アイランドを事例に－	共	2004年08月	日本建築学会2004年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 735-736, 日本建築学会	六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、まちびらき当初におこなわれたコミュニティ形成のための仕掛けが、まちの成熟にともない、どのように地域へ引き継がれてきたのかを地域活動団体へのヒアリング調査をもとにまとめ、コミュニティが未形成なニュータウン初期の段階における開発事業者の役割を論じた。 著者：水野優子・角野幸博
24. ニュータウンにおけるイベントおよび活動の形成過程について－神戸六甲アイランドを事例に－	共	2003年09月	日本建築学会2003年度大会学術講演梗概集, F-1, pp. 811-812, 日本建築学会	六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、新設市街地におけるイベント開催状況および活動状況について、タウン誌を用いた文献調査により明らかにし、まちびらきから現在にいたる地域活動の形成過程をまとめたもの。 著者：水野優子・角野幸博

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
25. 埋立都市の商業空間の形成過程について—六甲アイランドシティリバーモールを中心に—	共	2003年07月	2003年度日本都市計画学会関西支部研究発表会講演梗概集, pp. 81-84, 日本都市計画学会関西支部	六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、計画的につくられた商業空間が時間の経過とともにどのように変化してきたのかを明らかにし、特に問題が顕著である商業施設における改善の方向性を提言したもの。 著者：水野優子・角野幸博
26. 来街者に注目される盛り場の空間構成に関する研究	共	2003年06月	ファッション環境, vol. 13-2, pp. 17-18, ファッション環境学会	隣接しながらも特色の異なる大阪市南船場地区、および、東心斎橋地区において、女子学生を被験者とした写真投影法を用いて、来街者が注目する都市デザインについて考察した。 著者：水野優子・大谷光一・角野幸博
27. ニュータウンにおけるコミュニティ形成のための地域活動の役割と現状—神戸市六甲アイランドを事例として—	共	2003年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第43号計画系, pp. 25-28, 日本建築学会近畿支部	六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、地域居住者を対象としたアンケート調査により、ニュータウン居住者の居住環境評価、意識を明らかにし、地域活動の現状と役割について論じた。 著者：水野優子・角野幸博
28. ニュータウンにおける商業空間の形成と市民の利用行動に関する調査研究—神戸市六甲アイランドを事例として—	共	2003年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第43号計画系, pp. 133-136, 日本建築学会近畿支部	六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例とし、新設市街地における商業空間の経年における変容を、住宅地区、現地調査、ヒアリング調査等で明らかにした。また、居住者アンケート調査により当該商業空間の利用状況を明らかにし、今後のあり方について提言した。 著者：高橋典子・水野優子・角野幸博
29. まちづくりワークショップにおける歴史と現状について	共	2003年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集, 第43号計画系, pp. 645-648, 日本建築学会近畿支部	近年、まちづくり分野で住民参加の手法として活用されているワークショップについて、文献調査により分類・類型化をおこない、まちづくりワークショップの位置づけを論じた。 著者：原田多美子・大谷光一・水野優子・角野幸博
30. Park and greenery forms through participation of local residents after Great Hanshin-Awaji Earthquake	共	2000年06月	Nature and Human Activities, 5, pp. 41-46	阪神・淡路大震災を契機に、神戸市を中心として地域住民が主体となりおこなわれた公園や緑地の新たな取り組みの先進事例を報告した。 著者：中瀬勲・藤本真理・赤澤宏樹・水野優子
31. コミュニティにおけるみどりの役割に関する研究	共	1998年09月	平成10年度日本造園学会北海道支部大会研究・事例報告発表要旨／会報, vol. 2, pp. 51-52, 日本造園学会北海道支部	神戸三田国際公園都市（兵庫県三田市）等を事例に、戸建住宅住民へのヒアリング調査をもとに、ガーデニングが個人の趣味的（利己的）な楽しみだけでなく、家族や友人間のコミュニケーション手段であり、他の人々の楽しみにも寄与する利他的側面を併せ持つことを論じた。 著者：水野優子・中瀬勲
<b>3. 総説</b>				
1. 計画されたまちを暮らしこなす	単	2015年10月	家とまちなみ 第72号Vol. 34. No. 2, pp. 26-27, 一般財団法人住宅生産振興財団	同法人（国土交通省所管）の機関紙における「まちなみ・まちづくりエッセイ」に寄稿。六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）のコミュニティにおける、地域組織の多様性、ネットワークの多層性の事例について執筆。
2. 売られる手芸品—その現状と意味—	単	2011年10月	武庫川女子大学資料館平成23年度秋期展覧会図録「生活文化玉手箱シリーズ②共感のちから無名のちから」, pp. 56-57, 武庫川女子大学	手芸品が趣味の範疇を越えて、自己表現の手段ともなり、さらにその売買される「場」においては、手芸品そのものがコミュニケーションツールとして作用し、ネットワークが構築され、自己実現としての手段となりえている現状を、フィールドサーヴェイに基づき執筆。
3. “楽しみ”で集うコミュニティー—浜甲子園団地の菜園づくり	単	2011年05月	月刊ウェンディ, 第264号, p8, 合人社グループ出版局	マンション管理業グループ発行の生活情報誌のテーマ「団地再生を考える」に寄稿。UR浜甲子園団地（兵庫県西宮市）における花や野菜育てを通じたコミュニティ育成の取り組み事例について執筆。
4. 開発業者によるコミュニティ育成の取り組み	単	2009年08月	2009年度日本建築学会大会（東北）建築社会システム部門研究懇談会資料, pp. 89-90, 日本建築学会	研究懇談会「住宅地マネジメントの課題と展望」の資料編として寄稿。計画市街地において開発事業者の初期の取り組みがその後のまちに及ぼす影響を明らかにした上で、エリアマネジメントを考える上で開発事業者の役割と責任について執筆。
5. “まちのいろ”を考える	単	2009年04月	まちのいろ研究会2007-2008年度活動報告書, pp. 51-52, まちのいろ研究会	（公社）日本都市計画学会関西支部の助成金を受けた研究会の報告書に掲載。各々の“まちのいろ”を読みとることで、そのまちがこれから将来にかけて大切に守り育てるものがおのずと明らかになることから、その“まちのいろ”の背景を読み解くことの重要性について執筆。
6. 神戸市東灘区六甲アイランドシティのガバナンスについて	共	2009年03月	防災科学技術研究所研究資料, 第330号, pp. 33-38, (独法)防災科学技術研究所	同法人が地域防災力の評価手法のあり方を検討するにあたって実施した研究会での議論を含め、地域リスクとコミュニティガバナンスの現状と課題について執筆。著者：水野優子（本人を中心とした研究であり、論文全編を執筆）、永松伸吾、長坂俊成。
7. 六甲アイランドのまちづくり	単	2007年04月	季刊都市政策, 第127号, pp. 37-44, (財)神戸都市問題研究所	同法人の機関紙の特集「ソーシャルキャピタルと地域づくり」に寄稿。六甲アイランドシティ（神戸市東灘区）を事例に、まちびらきから現在にかけての地域コミュニティの育成プロセスを、ソーシャルキャピタルの視点から分析したものを執筆。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3. 総説</b>				
8. 計画されたもの、その後のゆくえ	単	2006年09月	2006年度日本建築学会大会（関東）建築計画部門研究懇談会資料, p43, 日本建築学会	研究懇談会「建築計画、その可能性の中心」の資料編として寄稿。都市計画、建築計画の分野において、考え得る限りのことを盛り込んで「計画」することが重要である一方、人々によって予期しない使われ方をすることもあり、そのためフレキシブルに対応する「あそび」の部分が重要性であることについて執筆。
9. 庭に遊ぶ	単	2000年01月	人と自然の博物館ニュース「ハーモニー」, No.28, pp.1-4, 兵庫県立人と自然の博物館	同施設の機関紙に寄稿。一定規模の庭空間を有する戸建て住宅地が計画的に整備されている神戸三田国際公園都市（兵庫県三田市）を事例に、「にわ」の歴史を紐解くと共に、ヒアリング調査の結果から現在の庭の使われ方、庭づくりの楽しさを執筆。
10. 公園づくりの動向と展開	共	1999年01月	建設物価 臨時増刊, 1999・1月号, pp.1-7, 建設物価調査会	特集「これからの公園づくりを考える」において、阪神・淡路大震災を契機に、神戸市を中心として地域住民が主体となり行われた公園や緑地の新たな取り組みの先進事例を執筆。著者：中瀬勲、赤澤宏樹、藤本真理、水野優子。
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 研究交流セミナー「これからの郊外、住まいと鉄道」第6回『駅から始まるコンパクトシティ形成に向けて(2)』		2016年06月10日	主催：(公社)都市住宅学会関西支部、(公社)都市活力研究所。 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（大阪北区）。	主催者が2015年度に実施した駅周辺の拠点性についての研究成果に関するセミナー。講師として参画。
2. (公社)都市住宅学会（2015年度全国大会）第23回学術講演会 ワークショップ「民間事業者による集合住宅のコミュニティ形成支援活動」		2015年11月29日	主催：(公社)都市住宅学会。 会場：広島女学院大学（広島市東区）。	大規模団地におけるコミュニティ形成に関する従来からの研究成果を踏まえて、民間事業者が支援するコミュニティ活動の意義について議論するワークショップ。パネリストとして参画。
3. 研究交流セミナー「これからの郊外、住まいと鉄道」第4回『駅から始まるコンパクトシティ形成に向けて』		2015年05月28日	主催：(公社)都市住宅学会関西支部、(公社)都市活力研究所。 会場：CIVI北梅田研修センター（大阪北区）。	主催者が2014年度に実施した郊外駅周辺3地区の土地利用動向調査、生活行動と居留意識についての調査等の研究成果に関するセミナー。講師として参画。
4. MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクト 大学トークセッション「大学と語る団地の未来」vol.3「持続可能な団地コミュニティ～入居半世紀を経た浜甲子園団地より～」		2014年01月31日	主催：(独法)都市再生機構西日本支社、ムジ・ネット(株)。 会場：武庫川女子大学（兵庫県西宮市）。	これからの団地についての、大学研究者と無印良品担当者とのトークセッション。大学研究者として参画。
5. 関西大学団地再生プロジェクト レクチャー、報告・発表テーマ「武庫川団地における団地マネジメント」		2013年08月28日	主催：関西大学先端科学技術推進機構団地再生プロジェクト室。 会場：関西大学（大阪府吹田市）。	中心テーマの発表者として、団地マネジメント研究会におけるUR武庫川団地での調査の概要、団地マネジメントの実情について報告・発表。
6. 明舞まちなカラボ セミナー、報告・発表テーマ「ニュータウンの再生に向けて」		2013年03月07日	主催：兵庫県立大学経済学部。 会場：明舞まちなカラボ（神戸市垂水区）。	「明舞まちなカラボ」セミナーの中心テーマの発表者として、ニュータウンの現状、高経年ニュータウンの事例、ニュータウンの再生方策等について報告・発表。
7. 六甲アイランドまちづくり協議会委員会、報告・発表テーマ「ニュータウンの現状と課題」		2012年09月08日	主催：六甲アイランドまちづくり協議会。 会場：RICふれあい会館（神戸市東灘区）。	同協議会委員会の議題「六甲アイランドの将来像について」において、中心テーマの発表者として、ニュータウンの現状、高経年ニュータウンの事例、ニュータウンの再生方策等について報告・発表。
8. さかいまちづくりフォーラム		2012年03月31日	主催：(堺市長) 連合後援会。 会場：堺市民会館（堺市堺区）。	まちづくりをテーマとしたフォーラムにおいて、市内各地域の住民主体のまちづくり活動の紹介と、市民と協働する堺市政のあり方を討論したパネルディスカッション。パネリストとして参画。
9. 西明石活性化まちづくりシンポジウム		2011年04月03日	主催：西明石活性化プロジェクト協議会。 会場：ホテルキャッスルプラザ（兵庫県明石市）。	西明石駅周辺を中心とした賑わいと活気にあふれたまちづくりを目指して、市民、事業者、行政等で組織する同協議会が活動開始するにあたり企画したシンポジウム。パネリストとして参画。
10. 笑いで育むコミュニティ シンポ&ワールド・カフェ ((公財)阪神・淡路大震災復興基金H22年度「まちのにぎわいづくり一括助成事業」)		2011年02月19日	主催：浜山寄席運営委員会。 後援：神戸市兵庫区役所、いきいき下町推進協議会。 会場：神戸ウイングスタジアム（神戸市兵庫区）。	「寄席」を取り入れたまちづくりに取り組む浜山地区（神戸市兵庫区）における、笑いによるコミュニティ育成についてのディスカッション。パネリストとして参画。
11. 西神ニュータウン研究会例会、報		2011年02月0	主催：西神ニュータウ	例会の中心テーマの発表者として、著書『都心・ま

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
告・発表テーマ「戦後郊外戸建て住宅地の再生ーコミュニティの活性化を目指して」		8日	ン研究会。 会場：大学共同利用施設UNITY（神戸市西区）。	ちなか・郊外の共生ー京阪神大都市圏の将来ー』の内容に関して報告・発表。
12. 「都心・まちなか・郊外の共生」勉強会、報告・発表テーマ「戦後郊外戸建て住宅地の再生ーコミュニティの活性化を目指して」		2010年09月03日	主催：神戸市都市計画総局職員有志。 会場：神戸市勤労会館（神戸市中央区）。	勉強会の中心テーマの発表者として、著書『都心・まちなか・郊外の共生ー京阪神大都市圏の将来ー』の内容に関して報告・発表。
13. ウェルカム岡本春祭り2008, 特別パネルディスカッション「失った生活文化、知恵、ココロを甦らせる商店街を目指して」		2008年04月19日	主催：岡本商店街振興組合。 会場：岡本好文園ホール（神戸市東灘区）。	岡本商店街（神戸市東灘区）の「ウェルカム岡本春祭り2008」における、今後の商店街のあり方や展望についてのディスカッション。パネリストとして参画。
14. 「兵庫区歴史花回道」イベント 歴史と下町生活文化の魅力あふれるまち兵庫区、座談会「兵庫区歴史花回道を語る」		2008年03月15日	主催：兵庫区民まちづくり会議、兵庫区北西部まちづくり協議会、神戸市兵庫区役所。 会場：神戸市立東山小学校講堂（神戸市兵庫区）。	「『兵庫区歴史花回道構想』の新展開に向けて(案)」の基調報告と、専門の立場から新展開に向けた提案を行う座談会。講師として参画。
15. 大和まつり“40”, シンポジウム「高齢化が進むニュータウン再生の「鍵」を探る」		2007年11月1日	主催：大和自治会。 後援：兵庫県阪神北県民局、川西市役所。 会場：川西市立牧の台小学校体育館（兵庫県川西市）。	大和団地（兵庫県川西市）入居開始40年を記念した「大和まつり“40”」における、地域再生についてのシンポジウム。パネリストとして参画。
16. 西神ニュータウン研究会例会、報告・発表テーマ「コミュニティによるニュータウンの管理運営」		2007年02月19日	主催：西神ニュータウン研究会。 会場：大学共同利用施設UNITY（神戸市西区）。	例会の中心テーマの発表者として、コミュニティによるニュータウンの管理運営について、他地域の事例を紹介しながら、管理運営主体としての地域コミュニティのあり方や、ニュータウンへの支援方策のあり方等を報告・発表。
17. フラワータウンまちづくり交流祭 2006シンポジウム		2006年11月12日	主催：フラワータウン連合自治会、(株)北摂コミュニティ開発センター、兵庫県阪神北県民局 会場：フローラ88（兵庫県三田市）。	フラワータウン（兵庫県三田市）入居開始25年を記念したシンポジウムにおける、現状と今後のニュータウンの展望についてのディスカッション。パネリストとして参画。
18. 高齢化とニュータウンの再生シンポジウム		2005年07月23日	主催：兵庫県阪神北県民局、川西市役所、猪名川町役場。 後援：(社)都市住宅学会関西支部。 会場：アステホール（兵庫県川西市）。	民間開発による戸建中心のニュータウンのあり方について広く議論し、今後の「急速な高齢化に伴うニュータウンのあり方研究会」の検討につなげるためのシンポジウム。パネリストとして参画。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 特殊法人日本学術振興会 科研費 基盤研究(C)（まちづくりアーカイブズ構築とまちづくり組織の展開に関する研究）	共	2013年	特殊法人日本学術振興会	新規
2. (財)土地総合研究所「平成22年度国土政策関係研究支援事業」（高齢化の進む建替団地での地域経営の可能性）	単	2010年	(財)土地総合研究所	新規

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年04月～現在	(公社) 日本都市計画学会 関西支部 編集・広報委員会 委員 (副委員長2015年04月～2017年03月、委員長2017年04月～現在)
2. 2015年04月～現在	(公社) 日本都市計画学会 関西支部 幹事会 幹事
3. 2014年10月～現在	(公社) 日本都市計画学会 関西支部 国際・交流委員会 委員
4. 2012年04月～2015年03月	(公社) 日本都市計画学会 学術委員会 委員
5. 2012年04月～現在	(公社) 都市住宅学会 関西支部 常議員会 常議員
6. 2010年04月～2014年03月	(一社) 日本家政学会 関西支部 地区幹事
7. 2009年06月～現在	日本生活学会 正会員
8. 2009年04月～2011年03月	(公社) 日本都市計画学会 関西支部 企画事業委員会 委員
9. 2005年04月～現在	(一社) 日本家政学会 正会員
10. 2003年04月～現在	(公社) 都市住宅学会 正会員
11. 2001年10月～現在	(一社) 日本建築学会 正会員
12. 1999年05月～現在	(公社) 日本都市計画学会 正会員
13. 1998年10月～現在	(公社) 日本造園学会 正会員